

3月28日

テーマ：「初めの愛から」

聖書箇所：黙示録2章4節

◆今日のみことば

しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。

黙示録2章4節

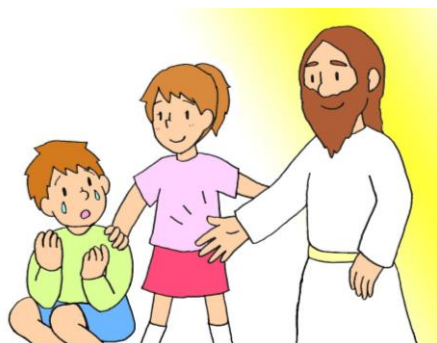
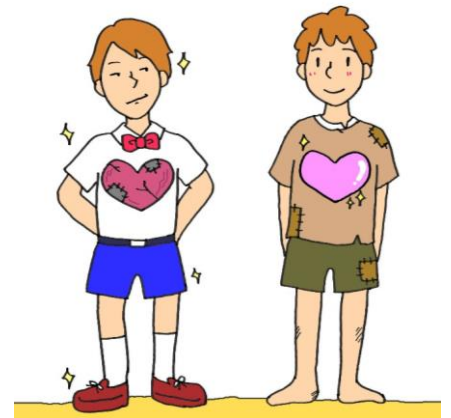
◆メッセージ

イエスさまは私たちに、家族やともだちを大切にできるように教えられました。聖書に出てくるエペソの教会は、イエスさまが教えたとおりに神さまと人を愛する教会でした。

ところが、教会にニセ教師たちが現れたことをきっかけに、優しくあつたはずのエペソの人たちはずいぶんと変わってしまいました。ニセ教師たちのウソを見破るのは素晴らしいことですが、いつもお互いをきびしい目で見えるようになり、ギスギスした雰囲気。だれが正しいか間違っているか、と。そしてついに、神の家族であるはずのクリスチャン同士がよくケンカをするようになってしまいました。相手の欠点ばかりが目について、仲間の弱さを受け入れる心や過ちをゆるす心をなくしてしまったのです。

そこでイエスさまは、大切なことを思い出させるためにこう言われました。「あなたは初めの愛から離れてしまった。それで、あなたは、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの行いをなさい。」(黙示録2章4-5節)

何をするにも私たちが忘れてはいけないもの、それは愛です。まわりにいる人たちのことを大切に、愛することです。しかし、そうとわかっていても、愛から離れてしまうことがあります。エペソ教会の人たちのように熱心に奉仕をしても、愛から離れてしまうことがあるんですね。



そんなときはイエスさまが教えられたように、まずは立ち止まって自分の言葉、行動を振り返ってみましょう。そして、もし過ちに気づいたなら「神さま、ごめんなさい」と素直に悔い改めましょう。悔い改めは気持ちや言葉だけではなく行いよって表わされます。そのこともしっかり覚えておきたいと思います。イエスさまが示してくださった愛の道へと私たちも進ませていただきます。

◆お祈り

「神さま。私は、家族やともだち、教会の人たちを愛する歩みから離れていないでしょうか。どうぞ、私の心をしらべてください。」

(白山めぐみキリスト教会伝道師 廣岡拓朗)